

蕨 8 広報WARABI

2015/平成27年
わらび・772

- 平成27年8月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 7月1日現在人口：72,845人 前月比 +40人
男 37,039人 女 35,806人
世帯数：36,520
人口密度：14,255人/km²

平和への願いをこめて――



7月25日「平和のキャンドルナイト」(東公民館主催)が行われた市民公園には、争いのない世界や家族の幸せを願う多くのともしが輝いていました

～今月の特集～

○背負ってきた70年
私たちが語り継ぎたいこと

背負ってきた70年 私たちが語り継ぎたいこと

Case 1 × 蕨の空襲

失った左腕と母の涙



よしだ ようこ
吉田 陽子さん

中央6丁目・75歳

昭和14年生まれ。北小学校、第一中学校卒。公務員として45年間奉職。長年戦争の語り部として市内で活動が続いている。外出時には左腕に義手を装着している

戦争は命の敵。母の悲しい思いを

もう誰にも味あわせてはいけない

小さな左手に号泣した母

「戦争の怖さを知ることができた」、「聞かせてもらったことを伝えていきたい」とつづられた手紙。吉田陽子さんの自宅には、たくさんの手紙がたいせつにしまわれています。それは30年以上続いている「戦争の語り部」の活動から得た、かけがえのない物です。「もう70年になるんですね」と、外の景色に視線を移す吉田さん。当時のことを伺いました。

— 昭和20年 蕨の空襲 —

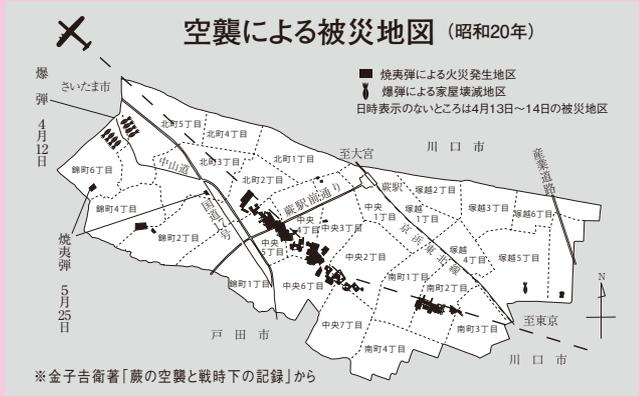
質素な食事を終え、辺りが暗くなり始めた4月13日の夕暮れ時。5歳の私は春冷えと空襲に備え、長袖の服を何枚

多くの尊い命を奪い、人々の心に深い傷を刻み込んだ先の大戦。今年には戦後70年、そして蕨市平和都市宣言から30周年となる節目の年です。そこで今月は2階から7階まで、蕨で戦災に遭った吉田陽子さんと、広島で被爆した服部道子さんの体験談や語り部としての活動などを紹介し、平和の尊さについて考えてみたいと思います。



も着込んでいました。前日、法華田(錦町5・6丁目)付近に16個の1ト爆弾が投下されて甚大な被害があったため、家族5人が住んでいた御殿町(中央4丁目)でも、ただならぬ様相を呈していたそうです。夜も更けた午後11時過ぎ。静寂を切り裂くように空襲警報が鳴り響きました。南東方向からB29の編隊が姿を現し、

蕨のまちを襲った3度の空襲



昭和20年、3度の空襲に見舞われた蕨のまち。被害は死者50人、家屋の焼失や全壊、半壊などは400戸に上りました。これは埼玉県内では熊谷に次ぐ、大きな被害でした。

1 度目：4月12日の昼頃。法華田から浦和にかけて16個の1トンの爆弾が投下され、死者36人、16戸の家屋が全壊

2 度目：4月13日の午後8時過ぎから14日未明まで。三和町から下蕨、土橋、御殿町、仲上町を経て、蕨第一国民学校（現・北小学校）までの約1キロの範囲に無数の焼夷弾が投下され、死者12人、362戸が焼失

3 度目：5月25日の午後10時頃。郷地区に焼夷弾が投下され、死者2人、3戸が焼失



昨年12月、西小学校の6年生を対象に行った授業。初めて講演をしたときに中学生が描いてくれた絵を、今も使用しています

焼夷弾の雨を降らせてきたのです。近くまで火の手が迫り一刻を争うなか、警防団員だった父を除き、母や姉と避難場所の三学院を目指しました。しかし、逃げ惑う群衆に流され、私たちがたどり着いたのは、日本車輛蕨工場（川口市芝園町）近くの田んぼ。疲れ果ててうずくまっていると、長姉に背負われていた私の耳元で大きな破裂音が…。同時に左腕に「ドスン」という衝撃が走りまわりました。痛みで意識が遠のくなか、母の「だいじょうぶ。」

お手々はあるよ」という声を聞きながら、気を失いました。そのとき、母自身も両足に大やけどを負っていました。私を抱き、更には臀部に深い傷を負った長姉のことを一晩中励まし続けていたそうです。

直撃した焼夷弾の破片

長い夜が明け、私たちは戸田の中島病院へ。直径30センチの焼夷弾の破片により、骨が砕け、服の中で皮膚だけが残っていた私の左腕に、医師は非情にも切断を宣告。それでも「我が子の命が助かるなら」との一心で従った母ですが、洗面器に乗せられた小さな手に、「涙が止まらなかった」と、後年話していました。その後、長姉の治療のため、大宮日赤病院へ。4か月に及ぶ入院生活を終えると、まもなく8月15日を迎えました。

蕨の空襲伝え続けて35年

時は流れ、昭和50年代。吉田さんに、ある依頼が舞い込んできました。長女が通う第二中学校の文化祭で戦争の話を聞かせてほしいというのです。快諾したものの、若い世代に届くか不安だったという吉田さん。しかし、吉田さんの証言を基に、生徒会の数人が事前に描いた絵を見せ、つらい記憶を話し始めると、「みんな真剣に向き合ってくれました」と、振り返ります。その真摯な姿勢に心を打たれ、以来長年にわたり、蕨の空襲や平和への思いを学校で話しています。

未来に向けて継承活動を

晩年、病に倒れた母は「私の左手を陽子に…」という言葉を残して、旅立ちました。「母のような思いをした人はたくさんいるはず。もう誰にも味あわせてはいけない。戦争は命の敵だから」と、結んだ吉田さん。取材後、「この前児童からがんばってねって励まされたの」と、笑顔で教えてくれました。子どもたちが平和な未来を継承していきけるよう、これからも語り続けます。



子どもたちからのたいせつな手紙



もとなが つま 本永 都万麻 さん 塚越小4年生

忘れずにいたい平和の幸せ

3年生の頃、吉田さんとお姉さん(田嶋さん)から蕨の空襲やけがをしたときの話を聞き、あらためて戦争の怖さを知りました。今は平和で、家族や友達と安心して過ごしているのはとても幸せなことだと思います。これからもこの気持ちを忘れずにいたいです。



ほしの りょうき 星野 竜希 さん 第二中1年生

悲しみ伝えて平和な社会を

吉田さんはとてもつらい体験をしたのに、明るく前向きな性格で見習いたいなと思いました。教えていただいた貴重な話を、僕たちが引き継いでいくことにより、平和な社会がつけられていくはず。大人になったら、自分の子どもにも話してあげようと思います。

16歳が見たあの日の広島

はっとり みちこ
服部 道子さん

塚越4丁目・86歳

昭和4年生まれ。同15年父の転勤で広島へ。戦後福島などを経て、同20年代に蕨町へ。各地で講演活動を行っているほか、実体験をつづった書籍も刊行している

生かされた者の使命として

命が続く限り、伝えていきます

多くの命をみとった少女

じりじりと容赦なく照りつける夏の日ざし。「強い太陽の光は、あの日と重なるのよ」と、静かに話す女性。その口調とは裏腹に、目に強い意志を宿すのは、広島での体験を基に平和の尊さを各地で訴えている服部道子さんです。看護師の見習いだった16歳の頃、爆心地から約3^{キロ}離れた陸軍の医療施設で被爆した服部さん。当時のことを伺いました。



16歳の頃の服部さん

—昭和20年 8月6日—

軍医部に勤めて3か月。職場に慣れ、やりがいを感じていた私は、あの朝も8時の始業に向け家を出ました。途中、ふと見上げた空が澄んでいた

こと、そして、一筋の飛行機雲が見えたことを覚えていきます。

朝礼後、防火用水を張り替えようと水道へ向かったその瞬間でした。ピカッと一面を照らす、すごい光。同時に地面を震わせる大きな音。「やられた、最期だ」と、気を失いました。

しばらくして意識が戻った私は奇跡的に無傷でした。しかし、建物はなくなり、一面、別世界に。避難した防空壕では暗闇の中、人々のうめき声や泣き声が響きあい、私は涙と震えが止まりませんでした。

—不眠不休の救護活動—

昼過ぎ、軍医部へ。そこには体が焼けて骨がむき出しになった人、皮膚が剥がれて垂れ下がった人など、野戦病院と化した施設には次々と負傷者が運び込まれ、不眠不休の戦いが始まりました。「助けて」、「水をください」という声が飛び交うなか、僅かな医薬品で懸命に手当てを続けましたが、惨状の前にあまりにも無力でした。でも、手当てをした人の顔は今でも胸に刻んでいます。やけどをしながらも赤ん坊を背負い、必死で助けを求めてきた母親。でも子どもの首



記憶を頼りに服部さんが描いた絵

がないことに気づき、その場で倒れ息を引き取りました。横たわり、今にも息がとだえそうなか、私の足をつかみ「お姉ちゃん、日本は勝つよね」といい、亡くなった少年。たくさんガラスが上半身に刺さった女性。ペンチで抜くと噴き出す血。どうにもできず、ただ止血をするだけ。みんな苦しかったろう、悔しかったろう。そして、まだまだ生きたかったろうに…。

涙流し五感に訴える語り

現在、86歳の服部さん。終戦後、原爆症による体の不調や被爆者という周囲の目に、「生かされたのを何度罪に思



ったことか。苦しくて海に飛び込もうとしたことも……。それでも必死に歩んできました。そして、40年以上も「語り部」として各地を訪れている服部さんは、市内児童館でも子どもたちに、あの日に見たことや聞いたこと、においなどを話し、その五感に訴えています。ときには感情的に広島弁を交え、涙を流しながら。そうした活動について、「多くの命の犠牲の下、今の平和な社会があるのです。若い世代がああ悲惨な戦争のことを知り、自分たちの未来を真剣

に考えることで、この平和が続いていくはずですよ」と話します。昨年には、被爆者の体験を伝える『証言の航海』(国際交流NGOピースボート主催)にも参加し、世界12か国で核兵器の恐ろしさを発信してきた服部さん。ともに旅をした若者たちが航海後、活動を始めるなど、その思いが次世代へと受け継がれています。

決意を新たに70回目の夏

間近に迫った、8月6日。今年も広島に行かず、自宅でのときを迎え、祈りをささげるとともに、平和への思いを独りかみしめるといふ服部さん。「あと、何年生きられるか分からない。だから一人でも多くの人に伝えることが私の使命なんです」と決意を新たに、70回目の夏を迎えます。

服部道子さん講演 「戦争をかたる」

とき=12日(水) 午後1時半
ところ=福祉・児童センター
(中央4-9-22)
対象=小学生以上
詳細=同センター
(☎431・7300)

みんなが悲しい戦争はだめ

服部さんは紙芝居などを使って教えてくれたので、戦争や原爆の恐ろしさがとてもよく伝わってきました。多くの人が痛い思いや、悲しい思いをする戦争は絶対にしてはいけません。どうしたらずっと平和でいられるか、みんなで考えなければいけないと思います。



ながた ともか
永田 朋花さん
中央小4年生

僕たちが生きてる今は幸せ

広島でのお話は信じられないことばかりで、驚いたし、とても怖かったです。あと、戦時中は物がなくて苦労したということを知りました。空襲の心配もなく、食べる物や着る物が普通に手に入る今は、幸せなんだなと思いました。やっぱり、平和な世界がいいな。



やました ちひろ
山下 知洋さん
中央小4年生



引き継ぐ次世代の声

服部さんの話を聞いた子どもたち

平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。

その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起すものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日 蕨市

▲蕨市では、昭和60年に市民の平和を願う心を結集し、「蕨市平和都市宣言」を制定しました

戦後70年・蕨市平和都市宣言30周年記念 被爆樹木植樹式



※写真はイメージ

広島で被爆した、アオギリの子孫を植樹し、平和への誓いを新たにします。また、平和都市宣言の朗読や東中学校吹奏楽部の演奏も披露します。
※アオギリの親木は被爆後、焦土の中で芽吹き、人々に生きる勇気を与えました。

とき=6日(木)
午前10時
ところ=市民公園
(塚越5-1)
詳細=庶務課
(☎433・7705)



宣言30周年記念事業



戦後70年。時の経過とともに戦争体験者が少なくなり、現在、蕨市の人口の8割以上が戦後生まれとなっています。しかし、戦争の記憶を風化させず、再び過ちを犯さないようにすることが今を生きる私たちの責務です。6、7ページでは公民館や歴史民俗資料館などで行う各種事業と平和を願う市民の皆さんの声を紹介します。

〈イベント・募集〉

平和作品の募集

市では、戦後70年・蕨市平和都市宣言30周年を迎えるに当たり、小・中学生から「平和」をテーマにした作品を募集します。対象は市内在住在学の小・中学生。作品種目は絵画・ポスター ※作品の規格や応募方法などは市役所・公民館・図書館などにある募集要項をご参照ください。応募は9月30日まで。詳細は生涯学習スポーツ課（☎433・7729）

旭町公民館（☎432・4053）

平和祈念事業「ぞうれっしやがやってきた」／7日（金）

午前10時 ミニコンサート
先着100人
パネル展「戦争と動物たち」
／10日まで

東公民館（☎442・4052）

平和で豊かな社会を願う蕨市民のつどい／1日（土）
午前9時 市民公園 平和之母子像の清掃 ※雨天中止。

西公民館（☎442・4054）

パネル展「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」／3日～12日
紙芝居とすいとんの試食会
／5日（水） 午前10時

下蕨公民館（☎441・1560）

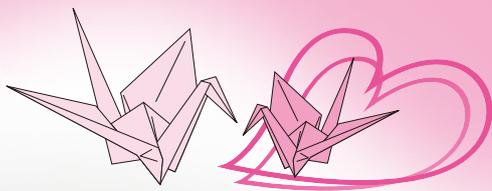
パネル展「戦争の記憶 繰り返さないために」／17日～31日

中央公民館（☎432・2530）



鉄の造形作家・武田美通^{ただよしと}「戦死者たちからのメッセージ」全作品展／7日まで 午前9時～午後9時半（1日は午前10時から 7日は正午まで）
オープニングセレモニー／1日（土） 午前10時 ●平和祈念コンサート＝蕨少年少女合唱団の合唱やアコーディオンの演奏ほか ●講演会＝作品を語る 武田美通さん





ご参加ください 平和を願う催し

戦後70年 蕨市平和都市



空襲の恐ろしさが伝わってくる金子登世子さん(中央在住)の日記を展示

「戦後70年」／9月27日まで
午前9時～午後4時半 休館
日・月曜日と9月22日～24日
昭和20年4月13日の蕨空襲の
様子を記した日記など、戦中
の貴重な資料や終戦直後から
戦後の復興、高度経済成長期
を迎えるまでの時代を色濃く
反映した資料を200点展示
詳細〓同館(☎432・2477)



歴史民俗資料館
第26回平和祈念展

北町公民館(☎432・2225)

千羽鶴を折ろう／5日まで
平和の展示「千羽の誓い」／
5日～15日 ※展示終了後に
広島平和文化センターへお届
けします。

親子映画会「戦争童話集よ
り」／5日(水) ①午前10時
②午後2時 参加自由

「すいとんの試食と平和の
おはなし会」／5日(水) 午
前10時半 限定100食

第2回蕨市民会館映画祭
「かぐや姫の物語」



22日(土) 映画〓午後1時
半 トーク〓午後4時10分
上映後には、トークゲストと
して、高畑勲監督が登場しま
す。前売り券〓1000円

当日券大人〓1200円 高
校生以下〓800円 販売・
問い合わせ〓市民会館(☎
445・7660)

図書館(☎444・4110)

展示〓戦後70年〓太平洋戦
争の記録／30日まで 2階展
示コーナー 「蕨の空襲と戦
時下の記録」などを展示

平和祈念の黙禱

ひろしま ながさき
広島市で6日、長崎市で9

日に原爆死没者の追悼と平和
への祈りをこめた式典が開か
れます。また、15日の終戦記
念日には、政府主催の全国戦
没者追悼式が開かれます。

蕨市も平和宣言都市として、
これらの式典に合わせ、6日

(木) は午前8時15分から、
9日(日) は午前11時2分か

ら、15日(土) は正午から敬
虔な黙禱がささげられるよう
、防災行政無線で呼びかけを行
います。1分間の黙禱をささ
げましょう。問い合わせ〓庶
務課(☎433・7705)



限定1,500本販売!!

わらびりんごサイダー



この酸っぱさ
癖になっちゃう!!

機まつり

開催期間中

8日(土)・9日(日)



200円 (300ml)

蕨市PR大使のお二人に感想を聞きました!!



フリーアナウンサー
まちあせい
町 亞聖 さん

甘さ控えめでリンゴの酸味と切れのよい炭酸の相性は抜群! グラスに注ぐときめ細かい泡とともにほんのりリンゴの香りが。愛情も詰まった大人味のサイダー。夏にお勧めです。

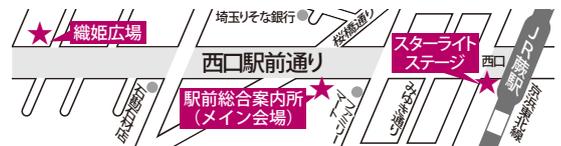
左手のピアニスト
ちない たけお
智内 威雄 さん



酸っぱさとほのかに残る苦味のバランスが絶妙で「これはいい!」というのが率直な感想です。お酢にも似た酸味は健康志向の人にもうけるのでは。お酒と割っても楽しめそうです。

日本一早く実がなることで知られるわらびりんご。商品化第1弾となる、わらびりんごサイダーを機まつり期間中の8日と9日の2日間限定で1,500本販売します。強い酸味を生かしたちょっぴり大人向けのご当地サイダー。シュワ〜と口の中ではじける刺激は暑い夏にぴったりの1本です。

【販売場所(★)】



今回、皆さんの協力の下、集められたリンゴ約110kgを使ったこのサイダー。これを機に地域の宝「わらびりんご」の魅力を全国にPRできたらうれしいです。今後も苗木の生育や接ぎ木講習会など、地域ぐるみで生産量の確保に取り組んでいきたいです。



わらびりんご
生産管理団体
おくだ みつよし
奥田 光由 会長

- ▼ 絵手紙ありす 第2・4月 曜日 午後1時 北町公民館 無料 入平田・☎42・2346
- ▼ 蕨けやきクラブ(太極拳) 土曜日 午前10時 南公民館 月1800円 簡化二十四式・楊式 入島田・☎41・4832
- ▼ 和楽備ラジオ体操絆の会 月・水・金曜日 午前6時15分 火・木曜日(男性のみ) 午前7時 城址公園 入平田・☎090・3131・9399
- ▼ 南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 入井上・☎42・0259
- ▼ 蕨インドアテニスクラブ(硬式テニス) 水曜日 午前9時 市民体育館 月3500円 入菊地・☎43・6611
- ▼ わらびシニアパソコンクラブ 26期生募集 10月開講 第1・3月曜日 午後1時半 中央東小学校隣・旧加藤文具2階 月2000円(別途冷暖房費・テキスト代) パソコン持参 入額賀・☎432・5217
- ▼ 俳句・わらびの会 第3火曜日 午後1時半 市内 800円 入長浜・☎433・6426
- ▼ 楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前 ラ・セーヌビル 月4500円 入浦島・☎224・5915

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

情報ダイヤル

市民と行政の力を合わせ みんなで創る未来の蕨 8月は協働推進月間

市民の皆さんに、協働への関心をいっそう高めていただこうと、市では今年度から、毎年8月を「蕨市協働推進月間」と決めました。そこで今月は、期間中の取り組みをご紹介します。皆さんもこの機会に、まちづくりについて考えてみませんか。

親と子の
ニュースの
小窓

蕨市協働事業



想いをカタチに
ともに創るまち
わらび

2つの作品を組み合わせ、蕨の「協働」をPR

多様化する地域課題の解決への糸口に

ワラビ 「わらわつまつり」(9頁)「まちの話題」参照)楽しかったね。お母さん いっぱい遊んだわね。このお祭りは実行委員会と蕨市が協働で開催したそうよ。

皆さんと行政が協力して、地域や社会の課題などに取り組むことです。お母さん 最近課題が多様化していて、行政だけで解決するのが難しいことも多いと聞きます。

ワラビ 協働って？お母さん たしかに協働という言葉はよく聞くけれど、具体的にはどんなものなのかしら。わらび ネットワークステーションで聞いて帰りましょう。

職員の 協働とは、市民の視点や知識・技術などを生かして、地域ぐるみでまちづくりを進めていくことが求められています。ワラビ なるほど。

協働への理解や関心を深める1か月間

ワラビ 今年の8月はどんなことをするの？

チフレイズは茨城県小美玉市の大山藍さんの作品です(右上囲み)。

職員 まず、協働のシンボルマークとキャッチフレーズを決定しました。お母さん 春に作品を募集していましたよね。

ワラビ これが協働のマークなんだね。お母さん 実際に市と市民がいつしよに行う取り組みもあるんですか？

職員 全国から集まった合計約450点のなかから選定しました。シンボルマークが群馬県高崎市の小池友基さん、キャッ

職員 はい。市民活動団体が公益的な事業を提案し、市と協働で進める「平成28年度協働提案事業」

を9月4日まで募集しています(お知らせ版3頁)。お母さん 団体としてもやりがいがありそうですね。職員 今年度は4団体が事業に取り組んでいます(左囲み)。昨年度実施した3団体には、今月29日の「市民活動ネットワークフォーラム」(午後1時中央公民館)で活動報告をしていただきます。お母さん 経験を地域に

も広げられるわね。職員 また、この催しでは、健康や防災といった身近なテーマの下、協働でなができるかを話し合うなど盛りだくさんです。ぜひご参加ください。お母さん 私もできることを考えてみようかしら。ワラビ みんなでもっといいまちにしようね。

詳細は同ステーション
(☎445・7256)

平成27年度実施の協働提案事業



5月16日
実施

楽しく子育て!笑(び)ってフェスタ



市内3中学校で
順次実施

デートDV防止啓発事業



7月25日・26日
実施

蕨と鉄道 にぎわい創出PJ
～鉄道を中心とした地域貢献～



今秋には催しも
実施予定

大荒田交通公園SL整備による
郷土と鉄道の関わりと地域貢献



世界の恒久平和と核兵器の速やかな廃絶を

市長 頼高英雄



18歳、大学1年生の夏、私は、訪れた広島で、灯ろう流しをしている高齢の女性の方とお話する機会がありました。そのお話は「原爆投下後、わが子の遺体を何日も捜し歩いた」というもので、大きな衝撃を受けました。市民の幸せな生活は平和であってこそです。戦後・被爆70年、蕨市平和都市宣言30周年の8月を迎えるに当たり、私は、市民の暮らしを守ることを責務とする市長として、世界の恒久平和と核兵器の速やかな廃絶に向け力を尽くすとともに、平和の礎となつていく平和憲法を大切にしている平和憲法を新たにしています。市長就任後すぐに参加した平和首長会議は、当時は県内では2人だけでしたが、今では全市町村長に広がっています。広島で行われる原水爆禁止世界大会にも、今年初めてメッセージを送りました。蕨市内では、この夏、戦争の悲惨さを描いた『火垂るの墓』の高畑勲監督がトークする映画祭や小中学生による平和ポスター展、被爆したアオギリ二世の植樹など、市民の皆さんとの協働で様々な平和事業が行われます。ぜひ、ご参加ください。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は6日です。9月は3日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へご連絡を。



ぐんぐん育て!!緑のカーテン 子どもクラブ 中央東小学校

節電や節水など、環境に優しい行動を心がけようと、小・中学校で取り組んでいる「蕨つ子エコライフ」。推進校として3年連続で表彰されているのが中央東小学校です。ヘチマやゴーヤが実る立派なグリーンカーテンは、4年生が春に種をまいた物で、夏の日差しを遮る緑のオアシスです。更に、土台には不用になったネットや校内の竹が使われていて、これもエコ。夏休み中も引き続き、水やりを行う栽培委員の児童は、「3階まで届くといいな」と、にっこり。ぐんぐん育つてもっと涼しくなるといいですね。



わが家のアイドル

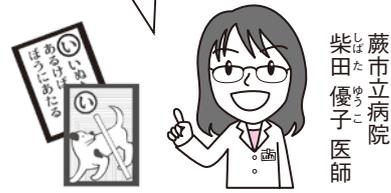
ゆなちゃん 由奈ちゃん (1歳7か月)

かんばやし けんじさん 上林 健治さん ちきす子さんの 長女 南町1丁目

「明るく人見知りしない由奈。初対面の友達にも『て』と声をかけて、すぐに手を握ろうとします。でも、ほんとうは恥ずかしいのか、手をつないだまま固まってしまうんですよ。そんな姿に私も頬が緩んでしまいます。」

最近はお気に入りのお洋服や靴を身につけて鏡を見つめたり、ぬいぐるみや友達にお茶をあげたりと、すっかり女の子らしくなってきました。由奈には、このまますなおで優しい子に育ってほしいです」と、母親の千寿子さん。

かるた DE ヘルスケア



蕨市立病院 柴田 優子 医師

リラックスのいろいろ お気に入りのリラックス環境を持つことはとてもよいことです。静かな所で好きな音楽を聴いたり、緑豊かな公園を散歩

したり、好きな香りに包まれてマッサージをした。今回はお勧めのリラックス法として、脳のリラックス法を紹介しました。それはふだんの仕事や生活とは全く違う題材の本を読むことです。全く違う題材に触れることで日頃使わない思考回路が働き、いつもの思考回路をお休みして脳がリラックスできるのです。そうした視点でこの夏読書を楽しんでみませんか？

柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



すてきな笑顔が印象的な石山さん

輝いています

ひと

フラダンス教室 講師

いしやま えつこ 石山悦子さん

フラダンスで身も心も笑顔に

花 や海、大地。南国の美しい自然を歌った曲に乗せてしなやかに踊るフラダンス。「はいっ、カホロー!!」「ヘラー」と、明るくステップの掛け声を響かせるのは石山悦子さん(62歳・北町4丁目)。「フラダンスは誰でも楽しめる、体も心も磨けるすてきな踊りです」と、その魅力を語ります。10代の頃から日本舞踊に親しんできた石山さん。15年前、家族で訪れたハワイで本場のフラダンスを目にすると、その開放的な踊りと輝く笑顔に一目ぼれ。帰国後、早速、公民館の教室へ通い始めました。初めは日本舞踊の癖を抜くことや、優雅さとは裏腹に中腰の姿勢で手の動きや表情を合

わせる難しさに苦戦しつつも、その奥深さに触れ、「本格的に学びたい」と、心に決めた石山さん。国内の第一人者にも師事し、着実にステップアップを図ると、ハワイのコンクールでは団体の部で準優勝に輝いた経験も。その後も踊りに磨きをかける一方、後進の育成にも携わってきました。60歳を機に地元・蔵でフラダンスの楽しさを広めたいと教室を開講し、現在は子どもから子育て中のママ、お年寄りまで幅広い世代の指導に当たっている石山さん。指導のモットーは、「笑顔で楽しむこと」。上達することはもちろんですが、「フラダンスは一人ひとりが物語の主人公。踊る喜びを全身で表現することで、前向きな気持ちになってほしい」と、その醍醐味を語ります。そして、いちばん伝えたいことが、「心を通わせ、支え合う」。そんな「アロハ」の心です。市内の催しへの出演に加え、今年度からは市民体育館やけやき荘の講座でも講師を務める石山さん。「少しでもお役に立てることが幸せ。私自身、皆さんと踊ることがなによりも楽しみなんです」と、これからも、癒やしのリズムに乗せて笑顔の花を咲かせ続けます。

紹介します！皆さんの市民活動

メッセージ



さいとう ていしちろう 齊藤 禎一郎 さん

記憶にも記録にも残る写真でつなぐ交流の輪

キラリ!! みんなの力

～蔵デジタルフォトクラブ～

「蔵デジタルフォトクラブ」は、デジタルカメラを用いた写真撮影や編集を楽しむもと、平成16年に立ち上げられた団体です。現在、18人の会員が月に2回(第2・4木曜日午後1時半)、下蔵公民館を会場に活動しています。活動では、風景や人物など、それぞれが好きな対象を撮影・現像した写真やデータを持ち寄り、お互いに教え合いながら、「感動を与えられる写真の撮



「和気あいあいと活動しています」と、皆さん

このコラムでは、わらびネットワークステーション(☎45・7256)の市民活動登録団体を紹介しています。

影」を目標に腕を磨いています。こうした活動の成果として、毎年、各自の写真を蔵市公募美術展覧会に出品しているほか、今月末まで、他団体とともに市立病院での展示も行っています。また、来月開催される下蔵公民館の「下蔵地区生涯学習フェスティバル」では、5日と6日の2日間、撮影会を設け、ポストカードのプレゼントも行いますので、ぜひお越しください。カメラのデジタル化に伴って、どなたでもいっそう気軽に、写真に取り組めるようになりました。いっしょに撮影を楽しみたい人は、齊藤(☎090・2917・5649)までご連絡ください。